

野菜部門

今年度は、ナス・キュウリ・ピーマン・シントウ・オクラ・ズッキーニ・トマト等を作付しました。

現在は、キュウリ・ナス・トマトが収穫時期を迎えており、収穫作業に毎日追われています。夏休みも野菜販売を行いますので、保護者の皆様ご希望の方は、生徒を通じてご購入下さい。生徒が一生懸命作った「安全で新鮮な野菜」は格別、美味しいですよ。

プロジェクト学習では、3年生は、トマト・ナス・スイカ・メロン・エゴマ・トウモロコシの生育調査を行っています。今のところ順調に野菜も成長しています。2年生は、ピーマン・オクラ・トマト・スイカの生育調査を雨にも負けず、暑さにも負けず、毎週行っています。

少しでも多くの安全な野菜を皆さんに提供できるよう、今後も生徒と一緒に汗を流し、栽培していきたいと思っております。



農場長より

今年の農場部の生産物において、震災に伴う収穫や出荷の制限など、直接的被害はでておりませんが、稲わらや牧草・土壌の風評などが、肉牛の販売価格低迷などにつながり、影響が出ています。

地域との連携においては、会津山都ソバ協会にお願いしソバ打ち講座を開設しました。また、喜多方市との連携により喜多方駅前・喜多方市役所前の花のオブジェの制作や山都小・高郷小との交流事業の継続をし、更に今年新たに豊川小・会北中とのキャリア教育推進事業、専門高校プロジェクト事業を加えて取り組んでいます。写真は会北中でのキャリア教育出前講座の様子です。



作物部門

5月24日本校千咲農場において全校生162名による、全校田植えが実施されました。3.3ヘクタールの田植え作業の締めくくりとして、全員で裸足になって田んぼに入り手植え作業を行いました。田植え後は後援会から弁当が配られ、おいしくいただきました。6月1日には産業技術科1年生によるサツマイモの苗1200本が10アールの畑に植え付けられました。その他、千咲農場にはエゴマが10アール、ソバが2.7ヘクタール栽培されます。

ソバ打ちの授業も始まり、作物専攻2年生5名が受講しました。今年は山都ソバ資料館を会場として行われます。ソバ打ち技能向上や3月に山都町で行われる、ソバ打ち段位認定を目指して真剣に取り組んでいます。



草花部門

早いもので1学期も終わろうとしています。草花苗、ニューギニアインパチェンス、カンナなどの販売や喜多方駅前と喜多方市役所にオブジェの製作をしました。

11月中旬からはシクラメンの販売をしたいと思いますのでどうぞ楽しみにして下さい。

この期間で2カ所のオブジェを完成させました。お楽しみください。制作に時間がかかり、皆様まで花を届けることができなかったことが残念です。



畜産部門

今年度は、肥育牛の出荷頭数は4頭ですべてが6・7月に出荷を終えました。出荷した肥育牛の等級はA-4が2頭、A-3が2頭と、どれも肉質・歩留が良好でした。昨年につづき震災の影響で牛肉のセリ値が安く影響を受けました。

本校の繁殖牛では相馬農業高校からの牛が2回目の受胎を行い来年1月に出産予定です。また、6月8日には受精卵移植の親牛「やまこう29」が雄の子牛を生み順調に生育しております。写真はその子牛の「耶麻高31」です。



農業クラブより

大会結果報告並びに今後の大会出場者を紹介します。家畜審査競技で、産業技術科2年山口翼が優秀賞となりました。今後は、意見発表に産業技術科1年門田英雄・産業技術科2年蓮沼美里・産業技術科2年石川大輔が出場し、研究発表には、産業技術科3年成田郁恵・産業技術科3年赤城政広・産業技術科3年江川知寛・産業技術科3年折笠悠斗・産業技術科2年鈴木勇輝・産業技術科2年長井正輝が出場します。結果が楽しみです。

